

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3		法令に基づいたスペースは確保し、個々に合わせたスペースを確保する工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			児童指導員 2 名、保育士 1 名 常勤
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	2	重心以外の受け入れではあるが、本来はユニバーサルデザインであるべきだと考える。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			年に 1 回アンケートを実施し、結果を事業所に掲示している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	今後第三者による外部評価を実施べきと考える。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			市や近隣の研修、社内研修（オンラインも含めて）にできる限り全員で参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			社内で統一されたアセスメントシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3		個々の活動や課題に応じ、対応している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			例年は月一で集団のイベントを実施していたが、コロナウイルス対応のため今年度はイベントは控え、通常の個別療育をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			情報共有しながら打合せしている。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			”
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎日支援記録をとり、見直しをすることでよりよい支援に繋げている。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			保護者の方とのモニタリング、職員間でケース会議を実施している。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			アセスメントをもとに目標を設定し個別支援計画を立てている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			おもに児童発達支援管理責任者が出席している。
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			個々の必要性に応じ、保護者さんに確認したうえで、学校との連携を図り、情報共有している。
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			保護者さんの要望や必要性がある場合、対応している。
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			現在のところ、対象者はいないが、今後該当者がいれば情報提供していく。
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			研修があれば参加し、困ったことなどができた場合は相談支援員さんに相談等したりしている。
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	普段、小学校に在籍している利用者さんばかりです。
	⑩⑰	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			児童発達管理責任者が参加している。
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			児発管は保護者さんの話を随時間ける状態であり、担当職員は毎回保護者さんへねらいや支援内容を丁寧に伝え、共通理解を図っている。
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4	保護者の方の困りごとやお子さんについてのことを話す機会は日々設けているが、ペアレントトレーニングの情報提供としては不十分だと考える。
保護者へ	⑩⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に丁寧な説明を心掛けている
	⑩㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			支援計画の見直し時期や、保護者さんが話したい時など、随時児発管が対応できるようにしている

の 説 明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	コロナウイルス対応でイベントは控えた1年だったため保護者同士の関りが持てる活動ができなかったが、今後できれば保護者同士のつながりができるような企画を実施していきたいと考える
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情対策マニュアルに基づいて適切に対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			ブログやインスタ、ライン等で、活動の様子やお知らせ等を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			十分注意し鍵付き書庫に保存している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
非 常 時 等 の 対 応	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	事業所のスペースや職員数の関係で、招待は難しいが、そのような機会や地域のイベントなどがあれば参加したい。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			各種マニュアルは策定している。感染症予防や緊急時の避難場所などは教室内に掲示している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			月に1回の頻度で様々な場合を想定した避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			事業所内研修を実施している。外部の研修へも積極的に参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			必要に応じ、身体拘束について保護者の方に説明をし個別支援計画にも記載していく（現在該当者なし）
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットの事例はその都度報告書を作成し、起こった事例に関して職員全員で話し合い、大きな事故にならないよう、今後の対策を講じている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 新鈴鹿校

保護者等数（児童数）：15 回収数：12 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27%	73%		・室内は狭いが公園などを活用し工夫している ・学習するにはもう少し集中できる環境があると良いのではないかと。 →個々の活動に応じ、スペースは確保していきたいとおもいます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	42%	50%	8%	→重症心身障がいの方を対象としていないため、現時点では必要はないかと考えています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	100%			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	100%			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	50%	33%	・コロナがあるので仕方がない ・学習目的で通っているため必要性を感じない →普段の学校生活で交流もあり、ここでは個別支援を中心に活動をしています。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25%	42%	33%	・コロナ禍ということもあり特に活動がなくても問題ない →個別支援中心で今年度はイベントも控えているためなかなか保護者さん同士の関りの場が提供しづらい現状です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	8%		→ブログ、インスタ、ラインで活動の様子やお知らせ等の情報を発信しています。自己評価につきましては、HPで公表しております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	83%	17%		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67%	33%		→月に1度様々な災害を想定し、避難訓練を実施し、お子さんと一緒に防災意識を高めています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。